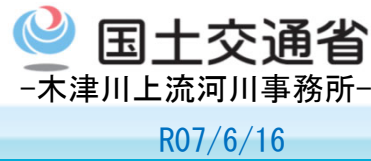


伊賀線第一陸閘で操作訓練

～出水期を前に伊賀市・消防団・伊賀鉄道など約60名が参加～



R07/6/16

出水期を前に、伊賀市消防団や木津川上流河川事務所など約60名が、伊賀線終電後の7日夜から8日未明にかけ伊賀鉄道新居駅付近に設置された伊賀線第一陸閘を操作する訓練を行いました。伊賀鉄道職員の立ち合いのもと、3班に分かれて順番に使用する機材や操作手順を確認しました。

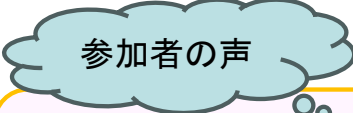
【実施日】 令和7年6月7日(土) 23:15～8日(日) 1:00
【参加者】 伊賀市;2名 伊賀市消防団;47名
伊賀鉄道株式会社;1名
木津川上流河川事務所;6名 報道関係;3社



開始の挨拶



陸閘閉鎖(水密板の設置)



- 陸閘が防災上重要な役割を担っていることを再認識することができた。
- 地域の防災力向上を図ることができた。



陸閘閉鎖(ゲート閉鎖)

■伊賀線第一陸閘とは・・・

新居遊水地の堤防は、伊賀鉄道の新居駅（伊賀市東高倉）付近で線路と交差しています。この線路が新居遊水地の周囲堤の高さよりも低いため、洪水時は遊水地内に流入した水が遊水地の外に氾濫する恐れがあります。

伊賀線第一陸閘はこの洪水時の氾濫を防ぐために伊賀鉄道の線路脇に設置された施設で、線路を横切る形で閉じる手動式の門です。木津川下流の岩倉水位観測所の水位が8.4mに達する恐れがあるとき、木津川上流河川事務所が伊賀市に同陸閘の閉鎖を指示します。2022年4月から運用を開始していますが、訓練以外で閉鎖した実績はありません。

【問合せ先】
国土交通省 近畿地方整備局
木津川上流河川事務所 管理課
TEL 0595-63-1611

